

令和元年度まちづくり懇談会アンケート結果について

1 まちづくり懇談会の開催状況

- (1) 開催回数 10月から11月までの11回
- (2) 会場 10 地区コミュニティセンター、ワークラボ八ヶ岳
- (3) 参加者 合計 968人

2 アンケート結果の概要

- (1) アンケート回答者数 591人 (61.1%)
- (2) アンケート回答者の状況
 - ・回答者の8割は男性で、7割以上が50歳以上となっています。
 - ・40歳以下の回答者は、昨年の22.8%から24.2%へ1.4ポイント増加しています。
 - ・回答者の9割以上が区・自治会の加入者です。
- (3) アンケート結果のまとめ
 - ・問6では、これからの人口減少対策として、関係人口、交流人口を見込む中では、「キャッシュレス・地域通貨・ポイント制」がこれからのまちづくりのツールとして、必要になる旨の提案をしましたが、「どちらかと言えば良くない」「良くない」の否定的な意見は少ない状況でした。
 - ・問7では、「地域のつながりがあると感じているか」について、「とても感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した人が、8割を超えています。
 - ・問8では、「地域のつながりは必要だと思うか」について、「必要だと思う」「どちらかと言えば必要」と回答した人が、9割を超えています。
 - ・問9では、「地域活動で今後取り組む必要があると思う内容」について、「災害予防や防災対策などの防災活動」が最も高く2割を超え、「高齢者・障害者などの保健福祉活動」「子どもの安全・見守りなどの活動」が続きます。
 - ・問10では、その他「自由記載」について、今回の提案内容に賛否両論の多くの意見をいただきました。提案した政策に対する十分な意見聴取ができたことは、まちづくり懇談会の成果であると考えます。

令和元年度 まちづくり懇談会 会場アンケート 累計

会場別参加者数の推移

地区	泉野	金沢	玉川	北山	ちの	中大塩	宮川	湖東	米沢	豊平	全地区	合計
H29(人)	71	80	116	71	116	60	101	69	73	70	0	827
H30(人)	73	70	124	98	104	65	94	85	73	67	19	872
R1(人)	82	104	121	103	105	75	113	85	91	67	22	968
R1アンケート回収数(枚)	61	85	69	56	64	37	63	50	55	45	6	591
開催日	10/8	10/15	10/25	10/31	11/5	11/18	11/21	11/25	11/26	11/28	10/26	全11回

※複数回答した人がいるため、合計が回答者数の合計と一致していない項目があります。

1 性別

	累計	
男	490	82.9%
女	90	15.2%
無回答	11	1.9%
	591	

2 年代

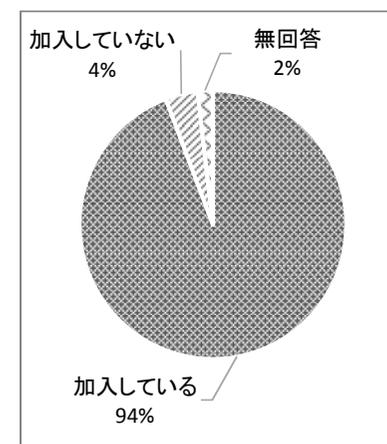
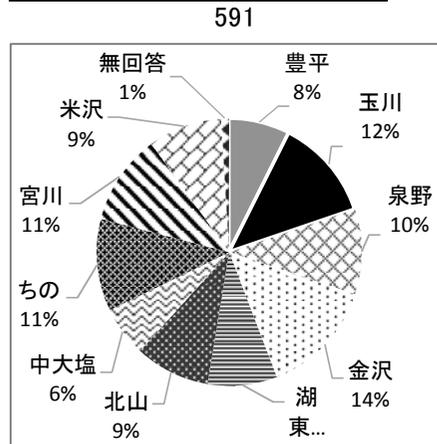
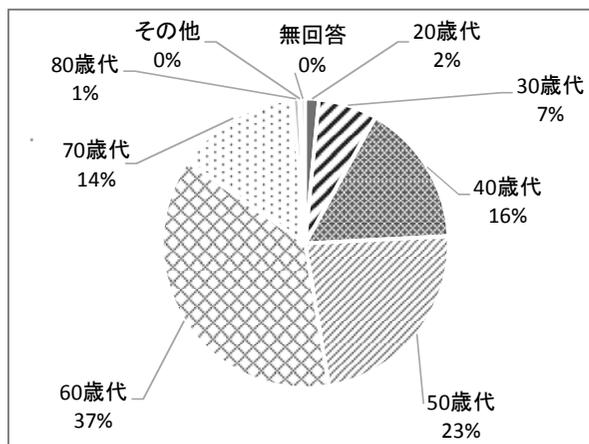
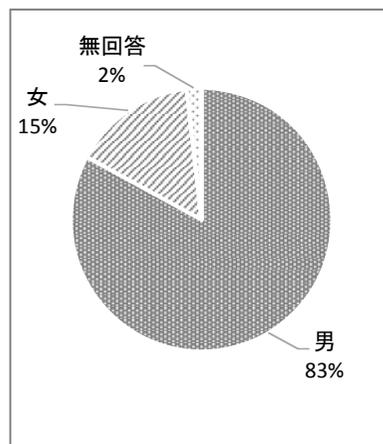
	累計	
20歳代	9	1.5%
30歳代	39	6.6%
40歳代	95	16.1%
50歳代	137	23.2%
60歳代	220	37.2%
70歳代	83	14.0%
80歳代	4	0.7%
その他	1	0.2%
無回答	3	0.5%
	591	

3 地区

	累計	
豊平	44	7.4%
玉川	73	12.4%
泉野	61	10.3%
金沢	83	14.0%
湖東	50	8.5%
北山	54	9.1%
中大塩	36	6.1%
ちの	66	11.2%
宮川	65	11.0%
米沢	53	9.0%
無回答	6	1.0%
	591	

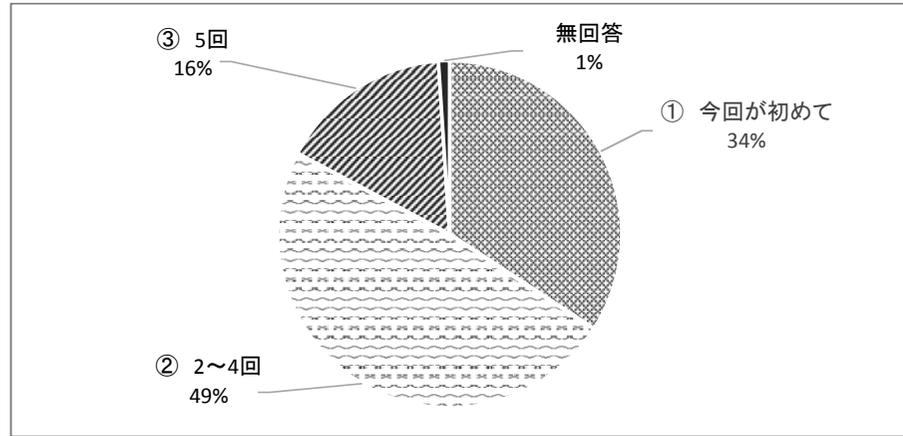
4 区・自治会への加入状況

	累計	
加入している	557	94.2%
加入していない	23	3.9%
無回答	11	1.9%
	591	



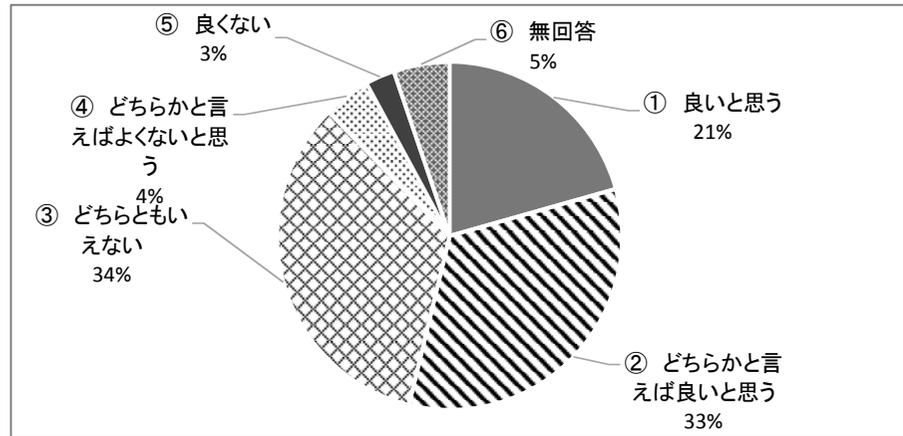
5 過去5年間で、まちづくり懇談会に何回参加したか

	累計	
① 今回が初めて	202	34.2%
② 2～4回	287	48.6%
③ 5回	96	16.2%
無回答	6	1.0%
	591	



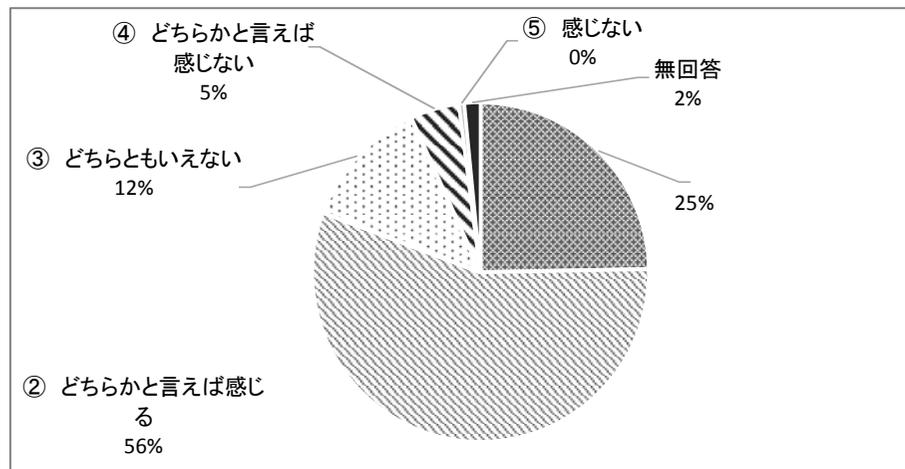
6 これからの人口減少対策として、キャッシュレス・地域通貨・ポイント制による10年後を見据えたまちづくりを提案しましたが、これらにより便利になると思いますか。

	累計	
① 良いと思う	122	20.6%
② どちらかと言えば良いと思う	196	33.2%
③ どちらともいえない	200	33.8%
④ どちらかと言えば良くないと思う	26	4.4%
⑤ 良くない	16	2.7%
⑥ 無回答	31	5.2%
	591	



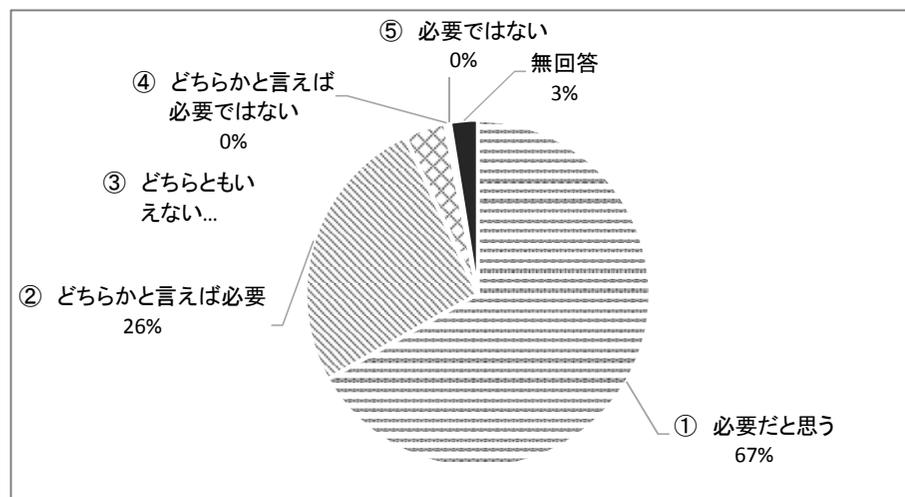
7 地域のつながりはあると感じるか

	累計	
	146	24.7%
② どちらかと言えば感じる	331	56.0%
③ どちらともいえない	74	12.5%
④ どちらかと言えば感じない	28	4.7%
⑤ 感じない	3	0.5%
無回答	9	1.5%
	591	100.0%



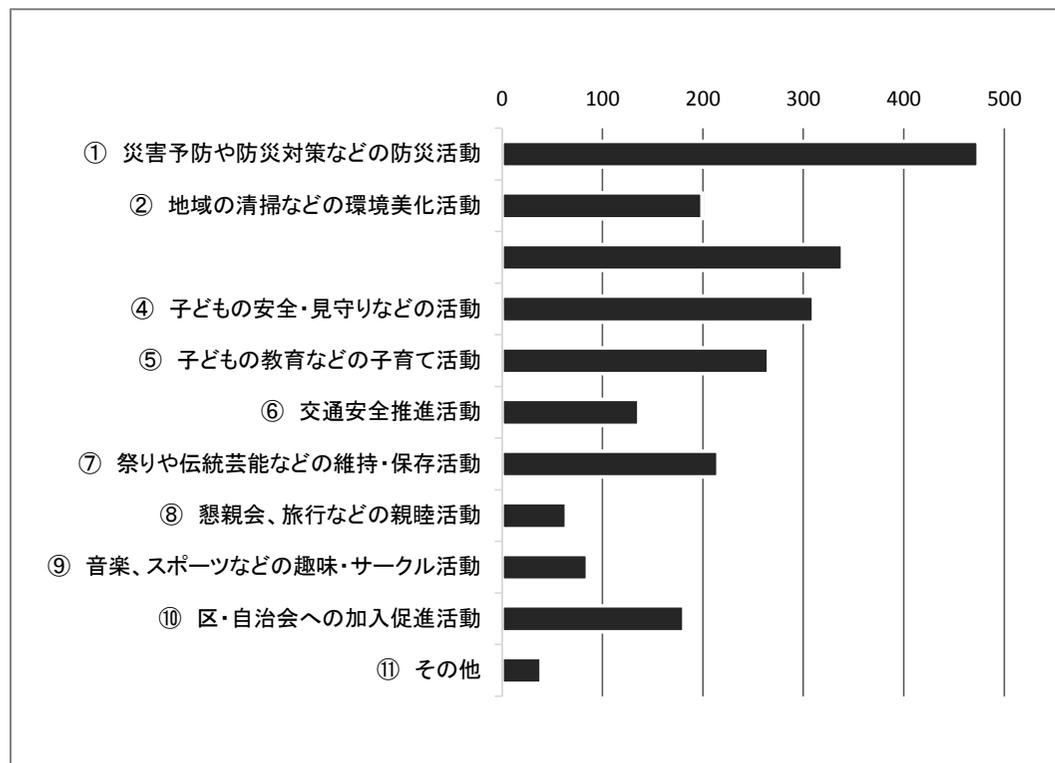
8 普段の生活の中で地域のつながりは必要だと思うか。

	累計	
① 必要だと思う	395	66.8%
② どちらかと言えば必要	155	26.2%
③ どちらともいえない...	23	3.9%
④ どちらかと言えば必要ではない	2	0.3%
⑤ 必要ではない	1	0.2%
無回答	15	2.5%
	591	100.0%



9 地域活

	累計	
① 災害予防や防災対策などの防災活動	474	20.3%
② 地域の清掃などの環境美化活動	199	8.5%
	339	14.5%
④ 子どもの安全・見守りなどの活動	310	13.3%
⑤ 子どもの教育などの子育て活動	265	11.3%
⑥ 交通安全推進活動	136	5.8%
⑦ 祭りや伝統芸能などの維持・保存活動	215	9.2%
⑧ 懇親会、旅行などの親睦活動	64	2.7%
⑨ 音楽、スポーツなどの趣味・サークル活動	85	3.6%
⑩ 区・自治会への加入促進活動	181	7.7%
⑪ その他	39	1.7%
無回答	30	1.3%
	2337	100.0%



【設問9】 地域活動で今後取り組む必要があると思う内容（その他意見）

区分	記載内容
地域づくり まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・茅野への関係交流人口の増加策、若い人たちとお年寄りの交流が生まれる、ポイント制の活かし方など。 ・その地域にしかない(特化した)料理、活動、自然、田園風景を活かした活動。 ・ケヤキフェスのような取り組みを一層発展させたい。 ・「ニュースポーツ」を多方面において、一人でも多くの人たちに楽しんでもらう機会を設ける。それが活力あるまちに繋がるのではないのでしょうか!? ・未入区者の入区の勧め。 ・地域の魅力の掘り起こし。地域が豊かになる施策。観光振興。6次産業化への積極的取 ・各種イベントへの興味の喚起、つながりの強化。 ・中大塩の特徴(魅力)を共有、区民に誇りを持ってもらうこと。 ・若い人たちが大勢いてくれる地域作り。高齢者が高齢者をお世話している。 ・①～⑩全ての活動に対する人づくり。若い世代から高齢者まで、これらの活動を担う人。多くの人に参画してもらうこと。 ・足のない(車を持っていない)区内在住者の送迎について
役員	<ul style="list-style-type: none"> ・区自治会の役務のスリム化＝役務が大変で区・自治会に加入しない人が増加している。 ・ボランティアの助け合いは必要だが、無理やり行うような行事(参加者はいつも同じ)、役員(仕事をしながらは大変)、どうしても必要な役員選任、もっと役員の数を少なくして、本当に生活に必要な除雪時などに区費を使うなど、いつも同じ人たちが参加して飲み食いする行事をなくして、生活しやすい部分に使うべき。 ・区長はじめ役員への負担を軽くしてほしい。サラリーマンはもちろん、働いている人に区長や総代は荷が重い。今日の会議も19時は早いです! ・地域活動の簡略
消防団	<ul style="list-style-type: none"> ・消防組織の再編。 ・消防団の活動について、人数の維持、予算の確保
福祉・健康	<ul style="list-style-type: none"> ・5～10年後を見据えた福祉活動。 ・市民の健康づくり、疾病予防 ・高齢者(一人暮らし)の移動手段、買い物手段対策 ・年寄り同士が独立して活動できるものを応援。
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農地、田の委託対策
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の充実(バスの増便) ・(⑥について)信号が分からない場所がある(歩行者用) ・高齢者の送迎 ・高齢者が車の運転ができなくなってからの事。 ・運転できなくなっても暮らせる対策 ・高齢化に向けての公共交通の充実
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校内の設備の修繕を進めてください。水道の流しがボロボロになっているなど。 ・子どものうちからボランティア、地域貢献の重要性を教えられないか。 ・外国人労働者の子どもの教育
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活、出会いの場、情報提供してほしい。 ・未婚率の低下、電車諏訪～岡谷の単線をどうにかする。 ・景観を美しく。茅野に来てくださる方がもう一度来たいと思ってもらえるか? ビーナスラインの景観(看板、花や木…)良くしてもらいたい。キャッシュレスの話もいいけど「キャッシュレスじゃなかったからもう茅野には行かない」となりますか? それより「ビーナスライン、メルヘン街道が美しく欧州に行ったみたいだった」の方がまた行きたい、住みたいと思います。 ・本屋の無い市に学ぶ。大学生はかわいそう。図書館内に市で本屋を運営するのはどうか。 ・観光事業への住民のおもてなし意識の構築。 ・市民の集まりと対話。 ・水害(太陽光発電)中止 ・高齢者に仕事を与える。 ・インフラ整備が整っていない地区・地域に将来何年後にできるか案を提出してもらいたい。 ・河川の対策 ・プロスポーツを運営できる組織、市でも(市民)応援できる体制。プロスポーツが誘致できる施設造り。 ・市民の必要とを感じる事項の推進(方向性)。

【設問10】 その他（自由記載）

区分	記載内容
まちづくり懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の方の想いを聞ける良い機会となりました。 ・キャッシュレス…ポイント？これをやっても地域活性化にならない。これをやらないと取り残されるだけ、活性化するには他でやっていないことをやる必要あり。その案が全く示されない。無駄なまち懇だった。 ・良い機会でした。 ・市長と直接語り合う数少ない機会として大変良い。 ・発言を強制させると参加者が減ると思う。各地区回りの開催は無理して行わなくても良いのではないか。 ・まちづくり懇談会なのに、キャッシュレスの話ばかりでがっかりしました。 ・役員、ご近所、知り合いの誘いがなければなかなか出られません。 ・まちづくり懇談会に久しぶりに出てみましたが、これが懇談会かと思いました。市長がなんでキャッシュレス、ポイントなどと言ってなくてはいけないか。 ・市長と語る会を土曜日13時から90分、申し込みにより月2回くらいやると良いと思う。「まち懇」は散漫になり評価できない。 ・国、他の地方自治体が実施しているような内容でがっかり。目指す姿が不明瞭、具体性無し、残念。まち懇のテーマ見直し要（説明会ではなく検討会になる内容へ）。 ・事前に説明資料の配布があれば更に良かった。 ・市長さんの直接的なご意見をうかがえるこの様な会は、大変ありがたいと思います。今後も更に良い市にさせていただきたく期待しております。 ・今井敦独演会。意見交換会になっていない。 ・懇談のあり方が大きく変わった様に思われます。市のPRの場としてなら懇談は不要。もっと市長の生の声を受け止める場として設定されたい。
人口減少対策	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和30年2月の一町八ヶ村合併より64年、茅野市は順調に発展してきたと言っていますが、泉野地区は、その時の人口約2,700人が最高で、現在は2,000人弱となっています。人口増加の政策では、中心街だけでなく周辺地区が増えるような施策を望みます。 ・キャッシュレスや地域通貨、ポイント制では人口減少を防ぐことはできない。元々茅野に住んでいる人が出て行かない為には、地域の活動、例えば消防団や区の役員などの活動の中で必要性の少ないものを削っていく、若者の負担が減らなければとてもじゃないけど、魅力的で暮らしやすい街であるとは言いがたい。人口が減少するのであれば、それに見合った政策をしていただきたい。消防団や役員が嫌で出て行ってしまふ。男性ばかりが区の役員をやっているのはおかしい。 ・少子化の対策を強く早急に！（更に！） ・人口減少対策：社会増（二地域居住者）を増加となっているが、富裕層増加を狙っているのか？雇用で若い人を増やしてもらいたい。 ・人が集まり、人が生活して生活が成り立つと思います。人が増える、市外に流出しない仕組み作りをお願いします。 ・若者が地元で就職できるように… ・人口減少対策としては、キャッシュレス化の取組も大事だが、若者が住みやすい、一度外に出て茅野市に戻ってきたいと思う魅力あるまちづくりが必要と思う。そのためには、若者や子育て世帯の特に女性の意見を聞いて、対応策を考えることが必要ではないかと思う。ターゲットを明確にすべきと考える。先日、中高生と話す機会があり、どんな町でありたいか、茅野市の不満なところは何かと聞いたところ、部活のあと、駅周辺でちょっと食事をしたいがそういう店がない、本を選んで買いたい大きな本屋がない、仲間で集まって話をしたり遊んだりお茶をする若者向けの店や場所がないなどの意見・不満を持っている様でした。 ・少子化が問題ではなく人口のバランスが悪いだけ！ ・高齢化に対する対応も必要だが、少子化に対する施策は効果が出るのが遅いため、優先して進めるべき。子供が多くなる事での経済の活性化も見据えた費用の投入も検討してほしい。 ・他県からの居住者が増える市にしてほしい。

区分	記載内容
人口減少対策	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減対策として、学生のまちづくりをすることが最も重要と考えます。学部増設を中心に、諏訪(六市町村)は一つで進め、合併推進を希望します。 ・若い人を呼び込むのであれば、子育てができる雇用環境・教育環境を整えていくことが必要だと思えます。米沢は学校・地域の環境もよく、温かい地域性を持っていると感じますが、同じ茅野市でもそうではない地域があります。お金だけでなく愛にも飢えた子どもがいなくなるよう、余裕を持って子育てができるような働きかけをしていただければと思います。 ・移住に関して、茅野市は推進している様だが、都会より移住される方の、生活向上、暮らしやすい方法等を、十分に検討してあげるべきと感じています。 ・茅野市に移住してくる人たちは、自然を含め安全な地域として来るわけで、企業誘致等をする税金は入ってくるが、道路混雑や自然破壊につながるか？企業誘致するにしても、場所は山浦方面では無理なのでは？なぜなら圃場整備をしたところが多いため。 ・企業の誘致、大型イベントの開催(例:ガズレーシング)など、もっと盛んにやってほしい。大学の公立化もあり、人が集う関係人口が増える様な行事の企画。官民一体となった柔軟性ある対応。茅野市内新規事業者(事業所)の法人に対する茅野市の独自の税の優遇措置。ランドマーク的な施設の建設。 ・茅野市に若者の転出を防ぐには、知名度のある企業誘致を市長を先頭にトップセールスをし誘致運動が必要ではないか。 ・人口減少に伴う、空き家対策は？→転入者への活用？ ・企業誘致で働き手世代の移住、定住を。 ・ワーケーション等新しい観光手法の取り入れ、賑わい創出、関係人口流入を増やすことに力を入れてほしい。 ・市役所の人がまず身を切るべき。給与を1/3切り高卒を大量に公務員に採用すれば若者は勝手に集まり少子化も改善する。 ・他県からの移住者が増える市にしてほしい。 ・人口減の問題をどうするか？
キャッシュレス、地域通貨、ポイント制	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客がキャッシュレスで楽しめるように、観光客の行く所すべてにキャッシュレスが実現できるように進めたら？(八ヶ岳までのバス、山小屋など) ・具体的な取組事例④の件について、お礼の気持ちをポイントで仲介し、支え合い・助け合いをすすめるとありますが、支え合い助け合いの気持ちはお金や品物やポイントで醸成されるものではないと考えます。打算的な考えで動くことにつながりかねず、真の意味での共助にはつながらないのではないですか。 ・キャッシュレス×地域通貨×ポイント制が本当に人口増につながるのか疑問でした。全国的な傾向なので乗り遅れれば人口減なのは確実とは思いますが。 ・キャッシュレス等の強制をすべきという意見がありましたが、これは個人の選択すべきことで強制すべきことではないと思います。キャッシュレスのメリットのみを強調して説明をされていましたが、様々な問題も含んでいます。この点については、よく検討して取り組むべきだと思います。 ・暮らしに便利と言われるキャッシュレスについて学ぶことができました。 ・(質問6について)個人情報の流出防止策は？ ・(質問6について)便利になるならない関係なく時代の流れだと思えます。 ・キャッシュレス化、地域通貨、ポイント制については、茅野市ポイントカードは、他のカードのポイントが共通化できればいいと思います。(例えばTポイント、ポンタカード、ナナコカードのポイント)共通化で使用できれば、用途は大変広がると思います。※キャッシュカードにしろ、電子マネー(カード)にしろ、使い分けてそれぞれが使用していると思います。 ・私は今、イオンセイウウのカードで買い物をしていますが、ポイントもつけ月に何日か3%、5%割引もあるので茅野市で作るなら、そんなことも考えてほしい。 ・キャッシュレス:高齢者への指導が必要。スマホを持っていないため、カード式の方が普及するのではないか。 ・ポイントはいいと思います。

区分	記載内容
キャッシュレス、地域通貨、ポイント制	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレスは消費税の還元で四苦八苦ししている状況で何がいいのか迷っている状況で、各社入り乱れており、どこかに集約すると考えています。そこに今日の話でびっくりです。高齢者はキャッシュレスはハードルが高いのではないかと。 ・キャッシュレス化→デメリット、それを考慮した上で進めるべきであると判断した理由は？ ・現金払いの好きな私は、キャッシュレスはなかなか理解が難しく思います。これからわかりやすい対策を考えていただき、私たちも時代に合う生活ができますようお願いしたいと思います。 ・親身になって話してくれる人がいれば必要ない。 ・(質問6について) 今後高齢化が進むと不便という人が増え、若い人が減っていることを考えると不便という声が増えると思う。 ・(質問6について) どちらかと言えば便利になると思うが、人口減少対策にはならないと思う。食料以外を買うところが少ない。本屋すらないのが実態です。 ・話が長すぎます。早く帰りたいです。キャッシュレスはいいと思いますが、ポイントの負担は誰が負担するのですか？たぶん市民ですよね。市税→死税ですね。PayPayなどのポイント負担はその運営会社が負担しています。シェアを争うから当然です。ポイントで人は動きません。市の税収以前に、先に区の収入が破たんすると思います。今、地銀は村の工場や商工会をコンサルティングしているそうですが、市は、区を存続させるためにもっとコンサルティングした方がよっぽど良いと思います。 ・キャッシュレス社会の推進で、便利な社会にはなると思うが、セキュリティ問題、セブンイレブンのセブンPayの様な穴がある。ポイント振込詐欺などの新たな犯罪、ポイント泥棒問題など穴を埋めてから導入してほしい。セキュリティホールの穴埋めと使用者への保障など。 ・ポイントの原資を誰が出していくのか。セキュリティの管理。国会議員・国へ市長を筆頭に営業活動を。 ・キャッシュレス、地域通貨、ポイント制と10年後を見据えたまちづくりがどうつながるのか、意味が分からない。 ・茅野のクローバーカードはお店によって徹底されていないところがあります。そんな場面に出くわすと、そのお店を利用しなくなります。地域ポイント制に期待があまり持てないように思う。 ・(質問6について) 便利になるというよりもつながりが深まる。 ・暮らしやすさを実感できるための取り組みとしてのキャッシュレス化を推進するにあたり、商工会議所や小さなお店はとても苦勞されると思います。そのための整備(始めるために必要な)に要するお金は大丈夫なのであろうかと心配です。 ・ポイント制…公立諏訪東京理科大学生ボランティアに仕組み検討をしてもらおう。 ・キャッシュレス等の推進は、10年後は地域的には「当たり前のクオリティ」を整えることと考えられます。転入者の増加の取り組みとしては弱い。国等のIT特区等の指定を受ける(50～60年前の精密工業特区のような)ことを目指すようなアグレッシブなものがほしい。市役所の中に長期(10年位)に取り組める部署を作ってはどうか。 ・キャッシュレスは良いと思うが、ポイント制は全然魅力を感じない。県外からより来てもらえるように、(質問9について)⑨(音楽、スポーツなどの趣味・サークル活動)を活発にしてほしい。 ・(質問6について) 停電の時は役に立たないのでは？ ・わたしの働いているパークでは様々な体験が出来ますが、全てインターネット予約のみで電話も直接も受付をしていません。そのため、お年寄りの方にはインターネットが使えない私は予約するなということなのね。と言われることが多々あります。便利な世の中になっているはずが、取り残される人がいるんですね。世の中から遅れを取らないのもいいけど、茅野市の中で取り残される人がいることがない様にしてほしいです。便利な世の中は不便な世の中です。教育の面ではキャッシュレスはよくないですね。お金は大切です。ちゃんと手に持って、あのおいを感じて、時間をたっぷり使ってお金を使ってほしいです。決済速度、そんなに大事ですか。観光地だからこそ逆に、昔のお金の様な形でタイムスリップした気持ちになる様な時の流れも気にせず過ごせる茅野市になってほしいです。ポイント制、ポイントでしか動かない市民は残念です。

区分	記載内容
キャッシュレス、地域通貨、ポイント制	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス…は時代の流れでいずれなるのでしょうかから、今日のこの場で時間を割いてもったいなかった。景観・街並み、過疎になっても安心して住めるような仕組みの話等…、意見の交換をしてほしかったです。細かいことは会議でやってください！山に木を植えるとか、手入れして産業にしたりなど。企業の商品説明会じゃないんだから～、スイカとかエディとか…他でやってください。 ・10年後、20年後を見据えていて良かった。 ・具体的な案がわからなかった。 ・キャッシュレス端末は導入しやすい価格、またはアプリにて。 ・キャッシュレスの話が長くもう少し別の話が必要だと思う。 ・千葉市と他の市の場合はいくまで参考で茅野市ではうまくいかないと思う。 ・ポイント制も良いと思うが、高齢者には難しい！高齢者にも分かりやすく、優しいポイント制にしてほしい！ ・寄付金などもポイント制、キャッシュレス化すればもっと集められるのではないかと思う。集金も手間がかかるのでスマホで入金できれば良い。 ・キャッシュレス化も含め、暮らしやすい、まちづくりの推進には賛成で、協力もしたいと思っていますが、高齢者の方など、方法がわからない方や導入に消極的な考え方の方も安心して関わっていかれるような工夫をお願いします。 ・キャッシュレスへの取り組みは市民も含めて具体化してほしい。 ・真に暮らしやすさを実感するためには、これまでにない思い切った事業展開が必要とあるが、どのようなものになるのか？ ・本日の懇談会、人口増加させるための基本的な話の中で、キャッシュレス、地域通貨の話とくっつけて話をするのはちょっと違うと思う。別々の課題でやるべきではないか？大筋がずれていて、ぼやけている。 ・通貨ポイント制の推進、長野市の取り組みを参考にしてほしい。 ・キャッシュレス等について、基盤整備がなされない限り、特に高齢者にとっては不便な面のみが強調されかねない。 ・キャッシュレスの話が長すぎる。 ・自営業の方へのキャッシュレス化に対して、補助やガイドライン等はする予定ですか？ ・都市部から移住される方にとってはとても便利かと思えます。でも20代の私でもキャッシュレスのセキュリティの脆弱性が心配で手を出せない現状があります。 ・“茅野シール”なんて言わず、狭いエリアでクローズせず六市町村で使えるポイント制を検討して！ ・キャッシュレスやポイント等で消防団への付与があっても良い。フリーwifi全市化とか。 ・資金の囲い込みと言う点は共感。オール茅野実施は必須。問題はどこまで拡げるか？市外の資金をどのように取り込むか？良い情報を発信して人と金を呼び込む必要。 ・地域通貨は市限定ではなく六市町村エリアで使えるようにしないと使う側のメリットがない。買い物は茅野市内より諏訪、岡谷が多いと考えられる。 ・キャッシュレスは消費者の立場。行政が推進する意味がない。ポイント制には、プラスαの想定だけでは実質が見えない。市民活動をポイントにすることで活発化しない。 ・キャッシュレス化の推進は、便利になって良いと思うが、一方でこどもがお金の使い方、ありがたみを感じにくくなるのでは？という思いもあります。 ・キャッシュレスが暮らしやすい道具という取り組みは理解するが、メリットだけ記載するのは片落ちだと思う。還元制度の恩恵を受けられないスマホ等を使えない高齢者にもメリットがある取り組みをお願いします。 ・今後の進め方の具体例として、キャッシュレス等を道具としての活用、人口減少対策が説明されたが、その他の具体例が不明。 ・ポイント制を導入するためのシステム、機械を市内全ての店舗、公共施設に導入するための財源はどこから持ってくるのでしょうか。

区分	記載内容
キャッシュレス、地域通貨、ポイント制	<ul style="list-style-type: none"> ・60代ですが、今でも消費の90%はキャッシュレスです。現金を使うのは飲食ぐらい。財布の中はカードだらけです。これ以上は不要では。各自に任すことも大事。取り残されるような80代を何とかしないと。 ・区諸役のなり手が少なくなっている。将来ポイント制の事業を実施するにあたり、区諸役をやると高額ポイントがもらえるようにすると、諸役をやることによるインセンティブがあるので検討してもらいたい。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・市長の話にもありましたが、公共交通機関の減少がやむを得なければそれに代わる方法を模索してほしい。 ・公共交通について、色々な手法が書かれているし、話もありましたがもっとせまくして、推進した方がよい。 ・泉野地区の公共交通がない。 ・高齢者、障がい者などの市内移動システムの確保。 ・高齢者が免許返納しても、駅より遠い地域の方は交通手段に乏しいと思われます。集落の中をバスが通らない今のバス行程では、免許返納はとも考えられません。何とか高齢者が安心して暮らせるような交通網をお願いします。 ・高齢化、2025年問題等が迫る中、高齢者のための公共交通網の充実を図ってほしいです。 ・バスの便が少なすぎる。 ・買い物バスの件で富士見のバスの運行も少し参考にさせていただきたい。 ・中大塩は高齢になると買い物難民になりそう。住み続けるのは難しそう。 ・交通弱者への対策
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント会社ばかりにたよらず、行政が住民と主体的に茅野市の将来像を真剣に考えてほしい。市長は、「茅野市にとってこれは良い」と思ったらまよわず判断して行動を起こしてほしい。 ・保育園児を含め小さい子供がいますが、子どもたちが社会人になる頃、とても住みたいと思う地域ではないと思っています。消防団員不足により常に地区の中で問題になっている、消防に入りたくないから若者が金沢から去っていく、店舗がない、若者がいないのに行事が多い⇒1人に何度も役が回ってくるなど、たくさんの課題があると思います。子供たちに金沢は良いところだよと言える地域になってほしいと願っています。伝統を守ることも大事ですが、行事や役員の負担を減らさなければ、若い世代はどんどんいなくなってしまう。 ・金沢の町おこしに今まで以上のご支援をお願いいたします。若者にとって魅力あるまちづくりに住民としてできることに協力したい気持ちでいっぱいです！！古民家のリフォーム化。(住民や観光客の居場所作り)など。 ・市政の具体的なビジョンとロードマップを示していただきたい。 ・若い人が戻ってくるメリットのある茅野市にしてほしい。 ・10年後を見据えたまちづくり→10年をどう乗り切るのでしょうか。 ・大学進学等で茅野市外に出た人に戻ってきてもらうには、地域の役目や伝統行事への強制参加を減らすことが効果的(魅力)になるのではないかと思います。関係人口や交流人口が増えて定住しようかなと思ったとしても、そういったものが煩わしくて決心できない場合もあるのではないかと思います。ただ、(質問9について)丸をつけたようなもの(環境美化活動、子どもの安全・見守りなどの活動、区・自治会への加入促進活動)は必要かと思っています。 ・是非、今井市長の任期中に「元気のある茅野市」を目指してください。自分もスポーツ委員の一人として、スポーツの素晴らしさを発信していきます。明るく楽しいまちになる事を期待しています。頑張ってください。 ・ラグビーなら菅平のようなものが茅野にないので、こういうのがほしい。日本全体でスポーツ市場を15兆円にもっていく政策があるので、その流れにのれたら。自分は2027年長野国体でトライアスロンを諏訪湖で開催するように動いています。そのためには、泳げる諏訪湖を目指しています。茅野ならランニング、トレランあたりもいいかと思っています。大会は若い人も集まるので「スポーツ茅野」はどうでしょうか。 ・玉川地区はケヤキフェスやマルシェなど地区の取り組みが活発ですが、他の地区や市全体との連携や情報の紹介などできないでしょうか。また、地域・地区のまちづくりの中心になるコミュニティの職員が、各地区とも思いっきり活動できるようにしてほしい。

区分	記載内容
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・国県との連携の強化、補助金の獲得、税収増のために必要なことは何なのかしっかりと考え実行すべき。 ・茅野市だけでなく近隣市町村とも連携しながらまちづくりを推進してほしい。 ・キャッシュレス等はないと生き残れないだけの話で、茅野市のオリジナリティがない。 ・安心して暮らせるまちづくりに支援をお願いします。 ・キャッシュレス同様、法人・個人問わず茅野市独自の税制改革。活動のしやすい体制にするためには、人とお金が流れる仕組みを作ることが必要と思う。 ・若い人、自分の子どもたちが帰ってくるような、集まってくるようなまちづくり。 ・若い人が家庭を作りやすい環境が良い茅野市にしてみたい。活気のあるまちづくりをしてほしい。教育を充実させてほしい。 ・良い取り組みがたくさんあると感じたので継続して行ってください。期待しています。 ・人口減少傾向は仕方ないとして、その情報で何ができるか？文化的な水準の向上、茅野市でもレベルの高い文化活動を！大学の存在が若者を集める1つの方法となるように。一般もまきこめると良いです。田舎の良さ。残っている自然を大切にできる生活、活動。(残ってしまった未開発の場所)
地域、地区、区・自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・入区してもらえない戸建があります。入区していない人もごみを出します。ごみ捨て場の管理をしている人たちは入区している人たちです。市としてこういう人たちを入区してもらえるようなシステム(条例)を作してほしいです。 ・出て行く人、入ってくる人の中には近所付き合いが嫌だから都会に行く、知っている人のいないところに行くという人も多いのでは？ ・積極的に情報発信を続けてください。行政区長への委託業務が多いと感じられる。一年限定の任期が代々引き継がれているので負担軽減を考慮していただきたい。 ・城山高齢化率48%近く。傾斜地。雪かきについて、①市は降雪10cm以上出動②区除雪機購入2台、区内検定合格者運転③近所お助け除雪。 ・理科大生に茅野市をもっと好きになれるような地域活動の支援をしていただきたい。アパートでは、回覧板、区内放送が伝わらない。区の行事に誘ってみたいが…。 ・中大塩が独立(豊平地区)する時に四つに区分されたが役員の数を増やすだけで大変である。二つにして役員の数も減らしてもっと一人でも暮らせる地域づくりをした方がいいと思う。茅野市は、金沢、泉野、玉川、宮川、北山、米沢、豊平、湖東、ちの、本町、上原、城山など、多くの集落から成り立っている。すぐに変えることは難しいので、モデル地区として中大塩がやってみる事もできないものではないでしょうか。 ・(質問7について)日々助け合いがなくなりつつある。 ・(質問7について)近所に悪い意味のお節介な人がいて住みにくい。 ・人口減少と働き手の減少の課題は大きな問題であり、自治会の運営も難しくなりつつあると感じています。自治会、入区しない若い家族があり、運営していく方々も高齢になり、自治会から退区、抜ける方が増えてきています。入区費の負担を少なくしたり、入区することへのメリットが感じられないとこれは難しそうです。 ・区役、他役員をボランティアに頼っている役員のメリットがない。 ・市行政のスリム化、区・自治会への負担を減らす。 ・退区問題は今後進むと思われるが、解決策は難しいと思う。いかに地域の人がより良い付き合いができていくかが大切だと思う。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・台風19号にともない自主的に親戚とか友人の家に身を寄せた人もいたと思いますので、次の台風・大雨の参考にできるように実態を調査してみてください。 ・(質問7に関連して)先日避難した時、子どもが東京へ行くより楽しかったと言っていた。みんな知ってる人たちばかり一緒にいれたからだと思う。
消防団	<ul style="list-style-type: none"> ・防火は必要です。操法は消防の基本です。 ・消防団の活動について操法大会をするより災害予防・防災活動に力を入れるべきである。

区分	記載内容
消防団	<ul style="list-style-type: none"> ・来年の操法地区大会が5月24日で決定したようだが、田植え真っ最中にやって家族の理解はより一層得られないのでは？競技性の高い操法はிரらない。 ・消防団に加入する若い人を増やしてほしい。 ・消防活動が大変すぎるので軽減できる方向にしないとそれだけで地元に戻ってこない子どもが多い。 ・色々あると思いますが、消防団は市民の生命財産を守っています。 ・消防団員へ加入しなければならないという問題があり、若者が地元に戻って来たがらない、団員不足が解消されない。それは、一年で消防行事が多く子どもが小さい家は嫁に子どもを任せっきりになってしまう。(特に部長)消防活動は大変というイメージが強く、若者からしたら住みたい、住み良い地域とは思えない。 ・消防は団員確保をすることに取り組みがある。
福祉・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉サービスが厳しくなっている現状があるように思います。財政の厳しさがその部分に反映されてしまうことはとても残念です。逆であるべきだと思います。弱き者に光を！！ ・買い物難民より今や通院難民となる。高齢団地に何とか手を差し出していただきたい。 ・健康長寿で県下一位になってほしい。 ・高齢者移送サービスに対する市としての対応と考え方が知りたい。中大塩社協へ。 ・子どもの医療費助成の拡充を望みます。
農業・山林	<ul style="list-style-type: none"> ・農業政策を長期的に考えていただきたい。担い手不足で遊休農地が各所に見られ先行き不安は募るばかりです。遊休農地の活用を市独自の政策策定を願います。農地の集約化の推進について、行政の指導を願います。 ・小規模農家の持続。大規模営農の支援と並行して、自給自足、地産地消となる家族的な農業経営の支援の両輪が必要と思う。農業は生きる基本であり、茅野市の環境を活かせる余地が大きい。移住者にも開かれた農業活動を奨励してほしい。→人口増加にも効果。 ・高齢化による農業対策 ・今朝のテレビで岩手県の耕作放棄地に酒米を植え、3年位で新しい酒ができ、金賞を受賞したとのこと。米沢もこのような企画をしたらと思いました。
観光・経済	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家の話が出ましたが、来年5月からオープンということなのに、地域の方の協力といってもいつごろから募集がありますか？体験型とは言え、どのようにするか、急にできないのでは？準備はいつから？どのように？いくら地域資源といっても準備がなければできないのでは？ ・金沢地区に商店がなく不便だ。 ・自然豊かな茅野市。観光で知恵を出し、お金を落としてもらおう工夫をしてほしい。 ・シティープロモーションとちの旅の関係性は？ ・台風災害等もかなりあるため、別荘地の森林間伐等必要。別荘のお客も離れてしまう。駅、市役所周辺ばかりよくしない。蓼科、白樺、中央高原、三井の森等にも力を入れてほしい。通過型から滞在(一泊等)に考えを持ってほしい。昔の華やかさがなさすぎ。 ・仕事がIT化によりなくなる時代。いかに地域の仕事を残す、増やす対策を強化すべき。 ・地域観光に主旨をおき、観光を充実させることにより少子高齢化の打開策にもなる。市民ひとりひとりがおもてなし精神を意識的に持つことが前提となる。 ・茅野シール(加盟店)で買い物をしている人が今どのくらいの人がいるのでしょうか？ポイント制があった事も知らなかった、どのくらいの人知っているのでしょうか？ ・観光…何かを造るのではなく自然のまま活かせる観光。 ・スマホQRコードで観光案内→ドコモ、au等の電波環境の整備。 ・登山客の姿は見るが、その他の目的とする観光客の姿はほとんど見かけない。何かアピールするものがあるならもっとやるべきではないか。

区分	記載内容
基盤整備・ 河川整備・ 交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の運転マナーが悪い。 ・上原R20鍛冶小路交差点に横断者保護のため是非早急にボタン式信号機を設置していただきたいです。近年の死亡交通事故は大変悲惨な事です。地元人として切にお願いします。 ・上川を中心とした河川管理の必要性を感じている。川幅の確保等諏訪市にも広げるような取り組みをお願いしたい。 ・米沢に住んで40年くらいになりますが、いまだ上水道がありません。1日も早く引いてくださる事を申し上げます。 ・朝ミラーが太陽でまぶしくて安全確認ができない所があるので見直してほしい！冬期で7時から8時。 ・福沢区では年3回上川の除草、清掃活動を行っている。延長2kmほどあり高齢化が進み、出払い作業免除者も増えてきている。かなり困難な状況も出てきている。一つ提案させてください。中大塩下橋から上の200mほどの区間の除草は県(諏訪建設事務所)でお願いできないだろうか。元々の地籍は中大塩です。 ・東京理科大から鬼場まで道路がせまく学生が通うのに危険なので道路の拡張が必要かと思えます。 ・観光都市であるので、道端の雑草処理をしっかり行ってもらいたいです。豊平の場合、長倉街道の草、落ち葉処理。
空き家対策	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策 ・空き家対策。固定資産税の控除(優遇撤廃)の廃止。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理など外国の方々への情報提供の必要性。 ・アパート等のごみは事業ごみとして、オーナーによる処理を決められないか。 ・田んぼの雑草を燃やす人が多く、近所に住んでいると迷惑に感じます。火事の防止の面からも禁止等できないでしょうか。 ・自然を求めて茅野市に、中大塩に移住したのに住宅近くに工場を作って騒音に悩んだり、他地区でソーラー問題、水源等に悩んでも相談できる市役所になってほしい。 ・ごみを出さない、捨てない条例を作りマイクロプラスチック削減を推進してもらいたい。 ・四賀ソーラー発電→百害あって一利なしです。後で何かあっても困ります。今の子供世代に負の施設を押しつける事に反対です。 ・リサイクル(資源物回収)に補助金復活。
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・市営プールはどうなりますか。近くにあり利用しやすいのが、他市まで行くとなると小さい子ども連れは大変です。子どもたちが元気で遊べるよう配慮してほしいと思います。 ・放課後に子どもが安心して遊べる公園が豊平地区にないので、子どもの居場所づくりをしてほしい。
教育・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・泉野地区教員住宅の有効活用は？ ・意見は出しましたが、特に文書館を茅野市に作ること、永明小中学校の建築に絡んで作っていただきたいことを提案します。 ・子どもの育ちは大変大事です。人材を育てる意味において教育的展望を聞かせてほしかった。(地域でできる事も含め) ・少子化対策、少子化問題について、学校の社会科等で説明し子どもたちの将来について考えるきっかけにしてほしい。既に行っていれば良いです。 ・未満児保育のお母さんの負担軽減、保育料。 ・小学生児童の朝通学の通り確保。 ・子どもに投資してください。子育て世帯をいかに取り込むかが重要だと考えています。

区分	記載内容
教育・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全、教育環境の充実をすることで、若年層の転入者を増やし、活性化をする。地域通貨は不要。地域通貨の前に小学校の体育館の暗幕を交換したらどうでしょうか？ガムテープで張り合わせて間に合わせで修理をしています。そんな学校の姿で子どもたちは地域、地元へ愛着が持てるのでしょうか？ ・小学生に対するクラブ活動(わくわく講座)が全市同じ日であるので自由に選択できるように配慮してほしい。 ・北部中学校への通学路の件ですが、電灯をいくら増やしても人の目が届かないのが、とてもこわい事だと思います。先日昼間にある事件があって通学路を見に行きましたが、何か1人ではこわくて、すぐ帰ってきました。子どもたちを守るためにも通学路を考えていただきたいと思えます。 ・保育園統合は絶対にやめてほしいと思えます。地域で育つ子どもたち、保護者の交流も大切です。便利だけを考えて今まで培ってきた地域の繋がりを大切にしてほしいです。 ・豊平地区の通学区をひとつにまとめていただきたい。福沢→米沢小、下古田→永明小になっているので豊平小に通学できるように！ ・今の中学生くらいの子どもたちに、将来茅野市に住みたいかアンケートを取ってほしい。その上で、住みたい理由、住みたくない理由を聞いてほしい。縄文学習も大切だが、子どもたちが茅野に住みたい、働きたいと思えるような魅力ある産業、魅力ある仕事の創出、子どもたちへの職業教育をしてほしい。 ・子どもたちへの通学(スクールバスなど)対策
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の方たちの条件として、茅野市で起業するとかいうことをつけて地元へ真剣に入ってくる工夫を。 ・一等地にある市役所の活用、例えば一階部分を開放して市民が寄り合える場にする。 ・理科大を活用して、学生が諏訪地域で活躍できる方向性に向け、検討実践してもらう。また、諏訪平には女性が活躍できる職場が少なくこも重点的に取り組んでほしい。 ・中心部だけでなく山浦方面対策もお願いしたい。 ・別荘地での法人保養施設が急激に減少しましたが、市としての実態把握はできているのですか？使用されていない別荘の増加も問題ですが、対策は？ ・諏訪東京理科大と小水力発電の開発。河川、せぎの利用、観光利用。 ・住民税高過ぎる。 ・弱者(いろいろな意味で)に対する支援政策を忘れないでください。 ・諏訪郡6市町村の合併案の状況→単独より集合体が利便性が高い。 ・茅野市に住んでいる方が本当に幸福なのか？茅野市は幸福度順位では全国の市町村の中ではどれくらいの位置にいるのですか？ ・茅野市としての魅力を内外にアピールしてほしい。 ・ボランティア組織のフラストレーションを解消してほしい。 ・大学生くらいの方がいろいろ研究し、市に提案したことがあったようですが、市役所の方があまり聞くことに乗り気ではなかったようだと言いました。ぜひ若い人の話は聞いてほしいと思えます。 ・六市町村が一つになる事は大事な事だと思いますが、アンケートを取るとまとまらないと思う。必要なことを理解してもらう努力が必要だと思う。 ・茅野市にもスーパーアリーナ、ドーム球場などがほしい。集客にもつながる。 ・孫が来たとき遊びに連れて行きたい所がないのでそのような施設がほしい。 ・いろいろと試して、活性化につなげてもらえば良いと思えます。 ・市職員の給料体系、各種手当等を開示してください。余計な手当、民間より手厚い手当があるというわさを聞きます。 ・温泉施設の営業時間を夜9時30分までに延長してほしい。原村9時30分、北杜市10時に比べると閉館が早く利用者が他の(茅野市外)施設に流出している。 ・地域の宝である縄文を活かしてほしい。

区分	記載内容
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・この対話会で進む方向は理解できたが、もっと身近なことから改革はできないの…例えばふるさと納税制度を充実させて税金を入れる等。 ・“安心安全なまち” 防災、医療、福祉充実と言うが、安心安全なまちでは全くない。交通安全(道路穴だらけ) ・市民サービス、年一回、住民に対して市内の温泉施設無料券配布。 ・茅野駅の車を止めるスペース(電車利用)が、いつも満車の状況。検討いただきたい。 ・高齢者の、仕事に対しての窓口が少ない。高齢者の雇用問題、シニアの知恵の活用。(地域コミュニティ) ・年寄りが元気でいきいき暮らせる茅野市はどうあるか？ ・女性を地域に残す質問、面白い考えだと思えます。私はこの土地に女性の縁で住みついています。 ・行政は地域目線でパートナーシップで考える。

令和元年度「まちづくり懇談会」会場アンケート

1 性別【いずれかを選択】 男 女

2 年代【1つ選択】

20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳代
その他（ 歳代）

3 お住いの地区

ちの 宮川 米沢 豊平 玉川 泉野 金沢 湖東 北山 中大塩

4 区・自治会への加入状況【いずれかを選択】

加入している 加入していない

5 過去5年間で、まちづくり懇談会に何回参加されましたか。

①今回が初めて ②2回から4回 ③5回

6 これからの人口減少対策として、キャッシュレス・地域通貨・ポイント制による10年後を見据えたまちづくりを提案しましたが、これらにより生活が便利になると思いますか。

①便利になると思う ②どちらかといえば便利になると思う
③どちらともいえない ④どちらかといえば不便になると思う
⑤不便になると思う

7 あなたのお住まいの地域には、地域のつながり（近所づきあい・住民同士の助け合い・支え合い）はあると感じますか。

①とても感じる ②どちらかといえば感じる
③どちらともいえない ④どちらかと言えば感じない
⑤感じない

8 普段の生活の中で地域のつながりは必要だと思いますか。

①必要だと思う ②どちらかといえば必要
③どちらともいえない ④どちらかといえば必要ではない
⑤必要ではない

裏面に続きます

9 あなたが地域活動で今後取り組む必要があると思う内容はどれですか。【該当するものをすべて選択】

- ①災害予防や防災対策などの防災活動
- ②地域の清掃などの環境美化活動
- ③高齢者・障がい者などの保健福祉活動
- ④子どもの安全・見守りなどの活動
- ⑤子どもの教育などの子育て活動
- ⑥交通安全推進活動
- ⑦祭りや伝統芸能などの維持・保存活動
- ⑧懇親会、旅行などの親睦活動
- ⑨音楽、スポーツなどの趣味・サークル活動
- ⑩区・自治会への加入促進活動
- ⑪その他

()

10 その他【記入任意】

茅野市が進める取組、市政に関すること、地域に対する思いまち懇での内容など、ご意見やご提言がありましたら自由にご記入ください。

()

※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。お帰りの際に、受付に提出してください。